

■日時 平成23年8月17日(水) ■天候 晴れ  
 ■球場 江戸川区球場 第2試合 1回戦  
 ■審判 球審:橋本 塁審:江口 中野 進士

宮城県貞山高校 対 沖縄県立那覇工業高校  
 ■試合時間 2時間34分 ■備考

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9							計	安	失
貞山	南東北・宮城	0	0	0	0	0	1	1	2	0							4	6	2
那覇工業	沖縄	0	0	2	0	0	0	4	1	×							7	10	3

貞山		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
1	中		星 昇 太	5	1	1	0	三振		右安		中飛		三失		投ゴ						
2	捕	投 捕	平 田 智 暁	4	1	3	1	四球		投飛			左3	中安		右安						
3	遊		伊 藤 勝 真	4	0	0	0	三振			四球		三振	三ゴ		三振						
4	左		川 崎 航	3	1	0	1	四球			三振		捕選		四球	捕邪						
5	三	投 捕 投	齋 藤 裕 弥	3	1	1	1	三振			死球		一邪		左安							
6	右		佐々木 裕 也	4	0	1	0		三飛		遊飛		投失		一安							
7	一		野 邊 繁 輝	4	0	0	0		三振		三ゴ		三振		三振							
8	二		伊 藤 貴 明	4	0	0	0		三振				投ゴ		三振	投ゴ						
9	投	三	一 井 春 己	2	0	0	0			三振			三振									
9		三	佐 藤 運 也	2	0	0	0								三振	三振						
合計				35	4	6	3	残塁:9		併殺:0												
備考																						

■バッテリー

投手
一 井 春 己
齋 藤 裕 弥
平 田 智 暁
齋 藤 裕 弥

捕手
平 田 智 暁
齋 藤 裕 弥
平 田 智 暁

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
一 井 春 己	4	18	5	4	3	2
齋 藤 裕 弥	2 1/3	12	0	3	4	2
平 田 智 暁	2/3	5	3	0	1	2
齋 藤 裕 弥	1	6	2	1	1	1

那覇工業		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
1	遊		塩 川 礼 隆	3	3	2	0	中安		四球		三飛		四球	右2							
2	中		伊 波 一 真	3	0	0	0	投犠		四球		遊失		三振	中飛							
3	三		伊 波 裕 行	4	1	2	3	三ゴ		左安		三振		四球	遊安							
4	左		仲 間 明 憲	3	1	1	1		三振	三振		四球		遊安	死球							
5	一		知 念 慶 介	4	1	1	1		投飛	遊ゴ		四球		左安	三ゴ							
6	捕		兼 次 亮 輔	4	0	1	1		左安		中飛	遊ゴ		三ゴ								
7	投		佐 藤 和 也	2	0	0	0		四球		三振		三振	四球								
8	右		新 里 允 悠	2	0	1	0		三振		遊安											
8	右		知 念 吉 仁	2	0	1	0						投ゴ	左安								
9	二		石 川 圭 祐	4	1	1	0			左安	三失		三飛		三振							
合計				31	7	10	6	残塁:10		併殺:0												
備考																						

■バッテリー

投手
佐 藤 和 也

捕手
兼 次 亮 輔

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
佐 藤 和 也	9	40	6	15	5	3

■戦評

大会第1日目、江戸川球場の第2試合、6年連続6回目出場の貞山と2年ぶり2回目出場の那覇工業との対戦。1回表貞山は二つの四球と盗塁で二死・三塁と先制のチャンスを作るも後続を打ち取られ無得点に終わる。3回裏那覇工業は安打と二つの四球で無死満塁と貞山先発一井を攻め立て3番伊波裕の左前適時打で二者を迎え入れ2点先制。那覇工業先発佐藤の力投の前になかなか得点のチャンスを掴めずにいた貞山打線は6回表この回先頭2番平田が左中間を深々と破る三塁打で出塁。一死後4番川崎がスクイズを決め1点差に追い上げる。続く7回表には二死後敵失の走者がワイルドピッチで三塁に進み2番平田の中前適時打でようやく同点に追いつく。7回裏那覇工業は5回からマウンドに上がっていた貞山2番手齋藤から二つの四球と盗塁で一死・三塁としここで代わった3番手平田から4番仲間がショートへの内野安打でまず1点。続く5番知念慶の打席で連続ワイルドピッチにより2点目。知念慶は左前適時打を打ち3点目。二盗・三盗を決めた後6番兼次のサードゴロで判断よく本塁を突きこの一回一気に4点を奪い6-2と引き離しに掛かる。8回表貞山は四球の走者を5番齋藤が左前適時打で返しなおも6番佐々木の内野安打で齋藤が三塁に進みワイルドピッチにより6-4と追いつがる。8回裏那覇工業はこの回から再びマウンドに上がった齋藤から1点を奪い7-4と引き離し貞山最後の攻撃を凌いで2回戦進出を決めた。那覇工業先発佐藤は15奪三振の快投を演じた。